地質柱状図 (No. 1)

調査件名　千葉市立畑小学校改築に伴う地質調査業務

調査場所　千葉市畑町

調査期間　昭和45年4月23日～45年4月27日

現場担当者

標　高　　・M

水　位（~~自然~~・孔内）$\frac{0.1}{-5}$ .25M

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度
	0								
	1		1.75			日高黄褐		コンクリート片及び玉石等多量に混在する。	カラ例に不安定
	2		2.90	2.90		日高茶褐	表土	ローム質土より成り、腐植物(小量根ヒゲ状)を含む。	中
	3		4.05	1.15		茶褐	ローム	粘着力強く、腐植物層下部に炭田石少量混入。	中
	4								
	5		5.60	1.55		黄褐	シルト混炭田石少	ポケット状にシルト薄く挟有す。炭をまじえ炭田石少量混在する。	密
	6							中粒石少全般に少量含有す。炭田石少量混在する。	密
	7		7.75	2.15		日高黄灰	炭田石少		密
	8								密
	9								
	10					日高黄灰	中石少	炭田石少多量混在す。	
	11								
	12							12.50m以深に小石塊3~5大ポケット状に挟有す。腐植物微量混じ全般に密なり。	
4.24	13								
	14		14.70	6.95					密
	15								極密
	16					日高黄灰			
	17								
	18								
	19								
	20							上部に微量のシルト挟有す。中粒石少及び雲母多量混在全般に密なり。	極密
	21								
	22					日高黄灰	炭田石少		
	23								
	24								
4.25	25								極密
	26								
	27								
	28								
	29								極密
4.26	30		30.30	15.60+α		日高黄灰			
	31								
	32								

標準貫入試験

深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30
1.15 1.15	70/10	玉石に当る。		
2.15 2.47	6/32	3/11	2/11	2
3.15 3.45	7/30	2	2	3
4.15 4.45	33/30	10	10	13
5.15 5.45	38/30	12	12	14
6.15 6.4	50/26	17	18	15/6
7.15 7.39	50/24	17	19	14/4
8.15 8.45	40/30	11	12	17
9.15 9.45	40/30	13	13	14
10.15 10.45	40/30	12	13	15
11.15 11.45	39/30	13	13	13
12.15 12.45	37/30	11	13	13
13.15 13.45	41/30	13	13	15
14.15 14.45	44/30	13	15	16
15.15 15.44	50/29	16	17	17/9
16.15 16.39	50/24	18	20	2/4
17.15 17.39	50/24	18	19	13/4
18.15 18.38	50/23	18	19	13/3
19.15 19.38	50/23	18	20	12/3
20.15 20.44	50/29	15	17	18/9
21.15 21.45	46/30	14	14	18
22.15 22.45	46/30	13	15	18
23.15 23.45	50/30	15	17	18
24.15 24.35	50/20	22	28	
25.15 25.38	50/23	20	21	9/3
26.15 26.37	50/22	20	23	7/2
27.15 27.38	50/23	18	21	11/3
28.15 28.34	50/19	23	27/9	
29.15 29.32	50/17	26	24/7	
30.15 30.30	50/15	32	18/5	

N値(回) 0 10 20 30 40 50

採取深度(m)　不撹乱資料

ボーリング柱状図

調査名　千葉市立畑小学校他１校地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Ｎｏ．畑－１	調査位置	千葉市花見川区畑町１３８５番地					北緯	
発注機関	千葉市役所　建設局建築部保全課			調査期間	平成　９年　６月　９日～　９年　６月１１日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.01m	角度	180° 上 / 下 0° 90°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	22.45m								

試錐機	ＹＢＭ－０５	ハンマー落下用具	コーンブーリー
エンジン	ＮＦ－９Ｋ	ポンプ	Ｖ－６

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層記号	孔内水位 (m)／測定月日
1					盛土・粘性土	暗褐灰		非常に軟らかい～硬い	0～1.0m付近まで砕石、ガラ等を多く混入する。全体的にローム、粘土を主体とした盛土である。粒子不均質。含水中位。色調不統一。	B	6/10 2.00
2											
3											
4											
5											
6											
7	-7.71	7.70	7.70								
8					表土・黒ボク土	黒褐		非常に軟らかい～硬い	植物根等少量混入。粒子不均質。含水中位。旧表土と思われる。部分的に雲母片、小礫を混じる。	F	
9											
10											
11	-11.31	3.60	11.30								
12					ローム	茶褐		軟らかい	粒子不均質。上部茶褐色の細砂挟む。含水中～大。部分的にスコリアを混入。	Lm	
13	-12.81	1.50	12.80		シルト質細砂	黄褐灰	中位		φ30mmの円礫混入。部分的にスコリアをブロック状に多く混入。	Ds1	
14	-13.86	1.05	13.85		細砂	暗黄灰	中位～非常に密な		粒子均一な細砂。含水中位。17m以深、締まっている～非常に締まっている。部分的に少量の雲母片、貝殻片を混じえる。	Ds2	
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22	-22.46	8.60	22.45								
23											
24											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.50	1	1		2/35	1.7
1.85	18	17			
2.15	1	2	2	5/30	5
2.45					
3.15	1	1		2/33	1.8
3.48	18	15			
4.15	2	3	4	9/30	9
4.45					
5.15	2	3	4	9/30	9
5.45					
6.15	2	2	4	8/30	8
6.45					
7.15	2	2	4	8/30	8
7.45					
8.15	5	5	5	15/30	15
8.45					
9.15	1	3	3	7/30	7
9.45					
10.15	2	2	2	6/30	6
10.45					
11.15	1/30			1/30	1
11.45					
12.15	1/25	1/17		2/42	1.4
12.57					
13.15	2	3	7	12/30	12
13.45					
14.15	8	8	10	26/30	26
14.45					
15.15	7	8	12	27/30	27
15.45					
16.15	9	10	14	33/30	33
16.45					
17.15	13	14	16	43/30	43
17.45					
18.15	13	20	17/6	50/26	
18.41					
19.15	11	13	19	43/30	43
19.45					
20.15	14	15	18	47/30	47
20.45					
21.15	13	18	19/7	50/27	
21.42					
22.15	12	13	13	38/30	38
22.45					

N値 —o—

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
3.00	T-1	①
3.70		

室内試験（　）

掘進月日

6/9

6/10

6/11